



宮崎県ひきこもり支援委託事業

2023年度ひきこもり回復プログラム



11月19日(日) 宮崎市

ひきこもり講演会 芦沢茂喜 先生

分かりあえないことが、分かること



- ひきこもりとの出会いは、精神保健福祉センターに配属になってから（11年前）
- 家族支援、個人支援、集団支援、就労支援に取り組みました
- 相談事例の増加
- 精神保健福祉センターを異動後も、多くのご相談を受けてきました

芦沢茂喜 氏

芦沢先生は、山梨県在住。
NHKクローズアップ現代+
(2020年12月)“こもりびと”
の声をあなたに～親と子をつな
ぐ～に出演されました。

「過去」と「彼ら」は変えられない。

変えられるのは、「私」と「これから」

戻らない「過去」でも、分からない「未来」でもなく、

「今」を認める。それがはじまりのような気がします。

芦沢茂喜先生
プロフィール



ソーシャルワーカー（精神保健福祉士、社会福祉士）。国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉学科卒業、東京都立大学大学院社会科学部研究科修士課程（社会福祉学）修了、信州大学大学院社会政策科学研究科修士課程（経済学）修了。山梨県内の民間精神科病院等での勤務を経て、山梨県庁に入庁（福祉職）。中北保健所峡北支所、精神保健福祉センター等を経て、現在は峡東保健福祉事務所に勤務。主な著書に、『ひきこもりでいいみたい——私と彼らのものがたり』（生活書院、2018年）、『ふすまのむこうがわ——ひきこもる彼と私のものがたり』（生活書院、2021年）など。

■2023年11月19日(日) 13時半～16時半（講話とミーティング）

《会場》 宮崎市民プラザ 4階 中会議室

《参加費》 会員は無料 [会員外の方は、500円になります]

●お問い合わせ先 宮崎県楠の会事務局 090-9603-8780

◆ 今後の予定 ※ 12月10日(日) 市民プラザ13:30 ～ 久保先生の講話
「精神疾患を含む心の健康について」

《2023年10月14日例会報告》

NPO法人KHJ全国ひきこもり家族会連合会
藤岡清人理事長のお話をききました。

「ひきこもり基本法はなぜ必要か」

1 講演内容

お話の内容としては、①団体紹介 ②内閣府調査結果(2022) ③子ども家庭庁アウトリーチ(訪問支援)研修 ④ひきこもりの定義 ⑤ひきこもり支援マニュアル ⑥制度の狭間にあるひきこもり支援 ⑦家族会の必要性 ⑧KHJに寄せられる本人・家族の声 ⑨家族会の中から問題提起 ⑩ひきこもり地域支援センターの拡充 ⑪ひきこもり地域支援センターの相談対応は十分か、をプロジェクターや資料に基づいて、さらには、ご自身の経験や生き様を含めて、懇切丁寧に、そしてわかりやすく、お話いただきました。



藤岡理事長

2 トップとしての対応

家族会連合会のトップであるという立場から、国会や国会議員との対応、連合会の予算獲得、さらには、ひきこもり基本法制定に向けての国会の先生方とのやりとりや勉強会、それぞれの政党の温度差、加えて、内閣法制局への相談(けんもほろろ?)など、普段聞けないお話も伺うことができました。

3 質疑応答

質疑応答では、講演を聞いている私たちが、ひきこもり基本法(たたき台)そのものをよく理解していないため、法そのものの質問から始まりました。

- ・どのように、法に施策が盛り込まれているのか?
- ・財政的な措置の規定はあるのか?
- ・ひきこもり給付金的なもの(年金?)があるのか?
- ・他法(生活保護法など)や他の福祉制度との兼ね合いはどうなるのか?

などの質問が出ました。藤岡理事長には、懇切丁寧に答えていただきましたが、法制定までには、かなり厳しい道のりを感じました。

これまで、「子ども・若者育成支援推進法」、「生活困窮者自立支援法」、「孤独・孤立対策推進法」、「障害者総合支援法」でひきこもりにも対応しようとしていた。しかし、どれも直接、当事者や家族を対象にしたものではなかったため、対応しきれなかった。それだけに、ひきこもりに特化した法制定の必要性はあるものの、ひきこもりの対応と言っても、一概に決められるものではなく、また、求めているものも様々であろう。したがって、法制定となると、いろんな考えがあって、大変難しいが、家族会の応援もぜひお願いしたいとのことでした。

4 家族会ミーティング そのあといつものように、家族会のメインである困っていることや現状などを、当事者や支援者の方々も含めて、話し合う場を設けました。話したくない人や事情のある事柄などは、パスしてもらうなど配慮して、一時間ほど話し合いや意見交換をしました。



いつものように、時間が足りないくらい活発な、そして、最後は和気あいあいと終わりました。

中には、一人で悩み、苦しんできたことを、涙ながらに吐露された方もいました。

みんなもそのような経験をしているので、それぞれの体験に基づいた様々なアドバイスをすることができました。



★都城支部だより

■令和5年11月の「都城例会」

《日時》 次回の開催については、
堀江さん迄、お尋ねください。

《会場》 コミュニティーセンター

申込み・詳細は堀江さん 090-4581-5152

★小林支部だより

■令和5年11月の「小林例会」

《日時》 11月19日(日) (第3日曜)

13時30分～15時30分

《会場》 小林市福祉センター別館

◆問い合わせ 小林市社協 大学さん
電話 0984-23-3466

★日南支部だより

■令和5年11月の「日南例会」

《日時》11月18日(土)

13時30分～15時30分 (第3土曜)

《会場》日南生涯学習センターまなびピア
(日南市木山2丁目)

申し込み・詳細は田中さんまで・・・。

電話 090-5949-8843

宮崎県ひきこもり地域支援センター

(宮崎県総合保健センター4階精神保健福祉センター内)

〒880-0032 宮崎市霧島1丁目1-2

専門の相談員が常駐し、親身になって相談に応じていただいています。楠の会会員も多数相談に訪れています。みなさんも、一度足を運んでみられてはいかがでしょうか。

■電話相談

0985-27-8133

0985-44-2411

※受付時間 8:30～17:00

■来所相談 電話相談の後、予約して来所。

■訪問支援 本人の状況や気持ちに合わせます。

■家族教室開催 各地域保健所

一度登録すれば、親に何かあった時、必ず相談に乗っていただけます。勇気を出して相談に行きましょう。秘密は厳守されます。

宮崎県楠の会【若者の居場所】のお知らせ

宮崎県楠の会では若者のための居場所『つなぐ』を開設しています。気軽においでください。

◆対象 ひきこもり、ニート、発達障害、精神障害等生きづらさを感じている当事者、経験者のみなさん。

◆日時 11月18日(土) pm14時～17時

◆会場 南宮崎駅前アーケード内
エデュコラボ教室
(宮崎市大淀4丁目5-25)

◆担当者 さがりふじ 下り藤さん
電話 090-5385-7651



〒880-0944
宮崎市江南4丁目9-9 植田方
電話 090-9603-8780(植田)

ひきこもりの子を持つ親の会

KHJ全国家族会「みやざき楠の会」

ニュース会員約110名
援助会員約80名

ホームページは
宮崎県「楠の会」で

検索

クリック

相談、家庭訪問

◆相談電話《無料》

面談の方はあらかじめ植田までご予約ください。
※緊急の場合はいつでもご相談ください。



◆「宮崎県楠の会」若者就労支援 (賃金あり)

- ・イオン アイカルチャーの清掃
- ・郵送作業 ・食品配布の手伝い
- ・宮崎市の公園清掃

担当 佐川さん 090-9573-7199

【ひきこもりの相談を受けたい方 受付中!】

宮崎臨床心理士会の先生方が、楠の会の会員に向けて、相談会を開催してくださっています。家族の事情、ご自身の生きづらさなど聴いていただくことで、心が軽くなります。

「相談」をご希望の方は、植田までご連絡ください。
相談料は無料です。日程は同封のプリントをごらんください。

◆植田=090-9603-8780

2023年11月の計画

1/18「市町村ひきこもりサポーター養成講座」に参加希望の方は、できるだけ公共交通機関を利用してください。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2 公園清掃	3 文化の日	4
	6 公園清掃 スポーツの日	7	8	9 公園清掃	10 市町村 ひきこもり 研修会 一延岡一	11
12 イオン清掃	13 公園清掃	14	15	16 公園清掃	17	18 日南例会 若者居場所 つなぐ
19 宮崎例会 小林例会	20 公園清掃	21	22	23 勤労感謝の日	24 市町村 ひきこもり 研修会 一日南一	25 市町村 ひきこもり サポーター養成講座・初級
26 イオン清掃	27 公園清掃	28	29	30 公園清掃	郵送作業	

フードバンクみやざき

からの食品配布日

- ◆ 11月19日(日)
宮崎例会会場
 - ◆ 11月18日(土)
エデュコラボ
(若者居場所・つなぐ)
- ※取りに来られない方にはお届けします。
[連絡-植田まで]

郵送作業
11/24(金)
10時~12時
市民プラザ3階



